



今春闘のあい方を問う！ 成田さん東京新聞に投稿！

本部特別執行委員の成田隆浩さんの新聞投稿が、1月19日付『東京新聞』に掲載されました。以下、投稿文です。

本気度が試される連合

連合の芳野会長は年頭記者会見で「今春闘で実質賃金を上げて全体の底上げを」と訴えたが、定期昇給も含めて5%増要求でよいものだろうか。使用者側から賃上げ回答を「率」で受けると、賃金格差が拡大することになる。仮に5%のベースアップが勝ち取れたとしても基本給が十数万円違えば、さらに五千円格差が拡大する。

春闘で賃上げされる正規の労働者はまだよい。労働者の多数を占める非正規やパートの多くは最低賃金で契約している。この最低賃金の大幅引き上げと地域差の是正こそが労働者賃金の底上げになるのだ。加えて厳しい資金繰りにあえぐ零細企業に対する雇用給付金などの支給は不可欠である。

為政者は国民の生活を向上させるために真剣に考えるべきだ。連合は今春闘で本気度が試される。